

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和06年08月28日

計画の名称	河川整備による都市の対策推進（防災・安全）											
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	仙台市											
計画の目標	都市化の進展等に対処し、安全で快適な生活環境の実現を図るため河川整備等による雨水対策を推進する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,095	A	1,095	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画的成果目標（定量的指標）  定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	計画規模相当の降雨に対し4.9haの被害解消を図る。 浸水被害が解消される区域の面積	94ha	ha	99ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
仙台市国土強靱化地域計画に基づき実施される要素事業 河川事業：A03-002（高野川） その他総合的な治水事業：A08-003、A08-004（堀切川、谷地堀）														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
河川事業	A03-001	河川	一般	仙台市	直接	仙台市	都市基盤(1)	-	笹川(後田川)都市基盤河川改修事業	用地、補償、護岸L=160m	仙台市						177	2.0	未策定	
	A03-002	河川	一般	仙台市	直接	仙台市	都市基盤(2)	-	高野川都市基盤河川改修事業	用地、補償、橋梁架替N=1基、掘削、護岸L=160m	仙台市						624	1.3	未策定	
												小計						801		
その他総合的な治水事業	A08-003	総合治水	一般	仙台市	直接	仙台市	準用	-	名取川圏域総合流域防災事業(堀切川)	掘削、護岸L=640m、用地、補償	仙台市						198	5.3	未策定	
	A08-004	総合治水	一般	仙台市	直接	仙台市	準用	-	名取川圏域総合流域防災事業(谷地堀)	掘削、護岸L=40m、橋梁N=1基	仙台市						96	12.6	未策定	
												小計						294		
												合計						1,095		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04	R05	
配分額 (a)	52	50	23	7	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	52	50	23	7	
前年度からの繰越額 (d)	28	23	37	14	
支払済額 (e)	57	36	46	16	
翌年度繰越額 (f)	23	37	14	5	
うち未契約繰越額(g)	0	19	1	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	26.02	1.66	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		用地取得において地権者との交渉に時間を要したため			

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 河川整備による都市の対策推進（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等の整合性	○
I. 目標の妥当性 地域課題への対応	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標（定量的指標）の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業施行の環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運	○